

2015年度保護者アンケート調査結果報告

法政大学への満足度は86.6%
入学学部への満足度は76.9%
本学が今後さらに充実させるべきは就職支援と就職に関する情報の発信強化
6割以上(60.6%)が「法政大学を勧めたい」

<調査の概要>

- ・調査対象：学部4年生の保護者 5,863名
 ※2014年度までは学部1～4年生の保護者2,000名（各学年500名）の抽出調査。2015年度より調査対象を変更。
- ・調査時期：2015年11月～12月
- ・調査方法：郵送
- ・有効回答数：1,289件（回収率：22.0%）
- ・回答者の内訳：父親38.5% 母親59.8% その他1.7%

<調査結果>

1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1および図2は、「現時点で、法政大学および被保護者の入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

法政大学に対する満足度（「満足している」＋「やや満足している」の割合。以下同様に表記）は86.6%（前年度参考値83.9%）でした。

また、学部に対する満足度は76.9%（前年度参考値74.7%）となりました。

図1 法政大学に対する満足度

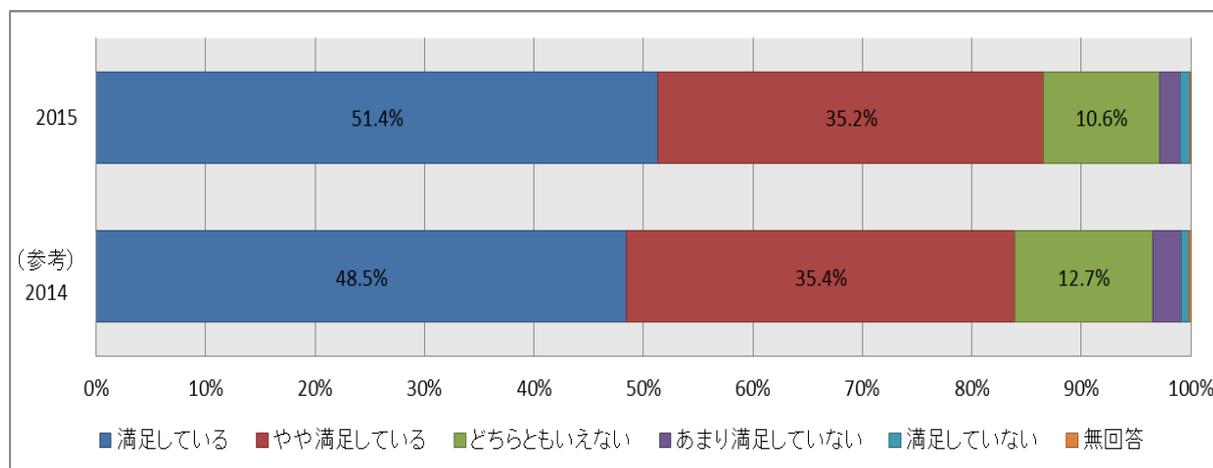
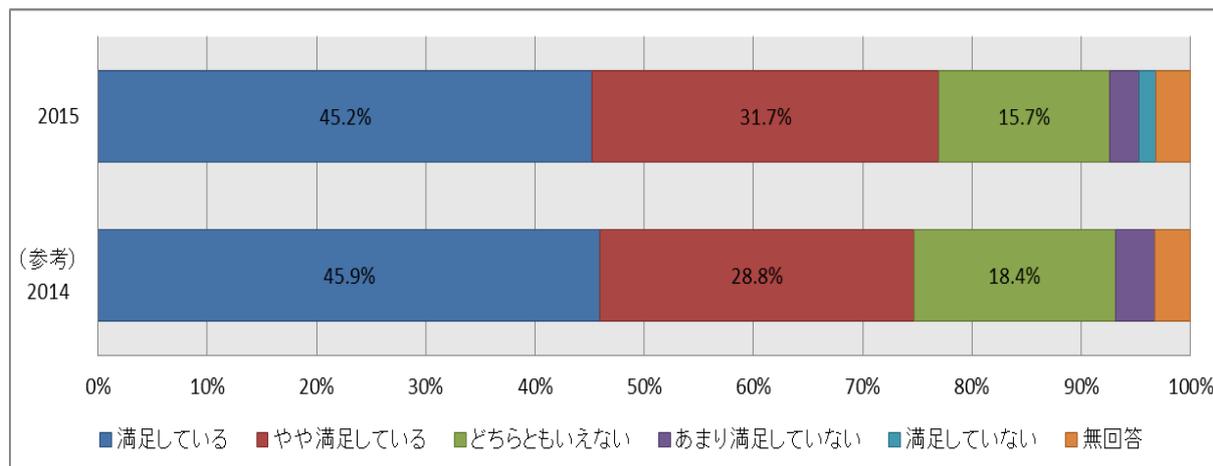


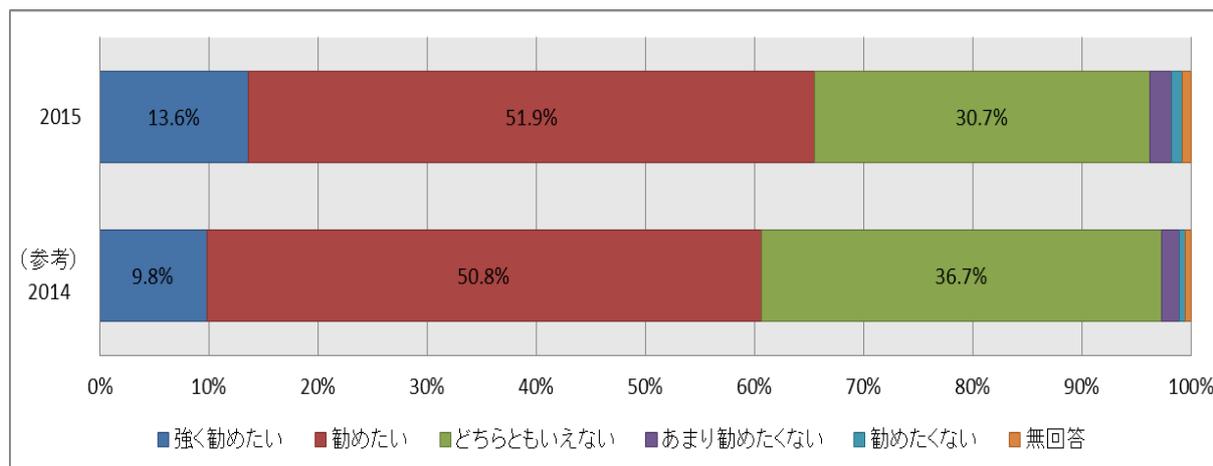
図2 学部に対する満足度



2 法政大学を勧めたいと思うか

図3は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する回答を集計したものです。勧めたい（「強く勧めたい」＋「勧めたい」の割合）と回答したのは65.5%（前年度参考値60.6%）でした。

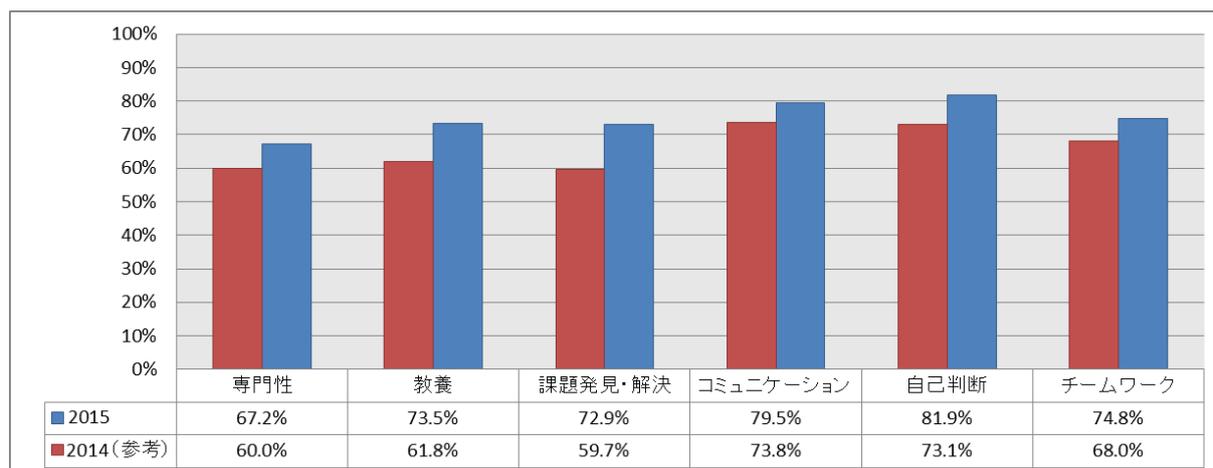
図3 法政大学を勧めたいか



3 大学での授業や活動を通して身につけた能力（※2014年度新規項目）

図4は、「被保護者は大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか」との質問に対する肯定的回答の割合（「そう思う」＋「いづらかそう思う」の割合）を比較したものです。「自己判断能力」(81.9%)がもっとも高く、「コミュニケーション能力」(79.5%)、「チームワーク力」(74.8%)と続きます。

図4 大学での授業や活動を通して身につけた能力

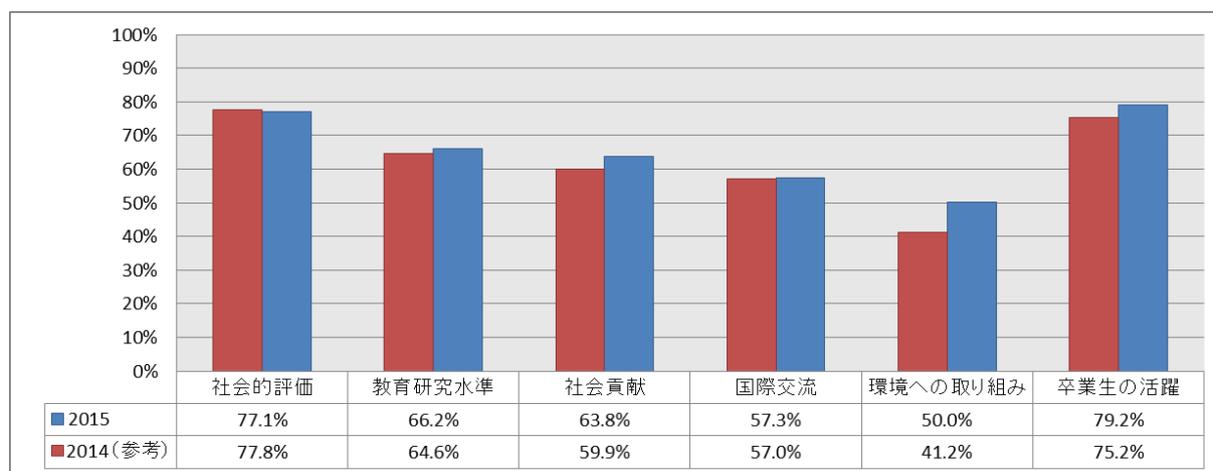


4 法政大学の評価（イメージ）

図5は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する肯定的回答の割合（「そう思う」＋「いくらかそう思う」の割合）を経年比較したものです。

「卒業生の活躍」（79.2%）がもっとも高く、「社会的評価」（77.1%）、「教育研究水準」（66.2%）と続いています。

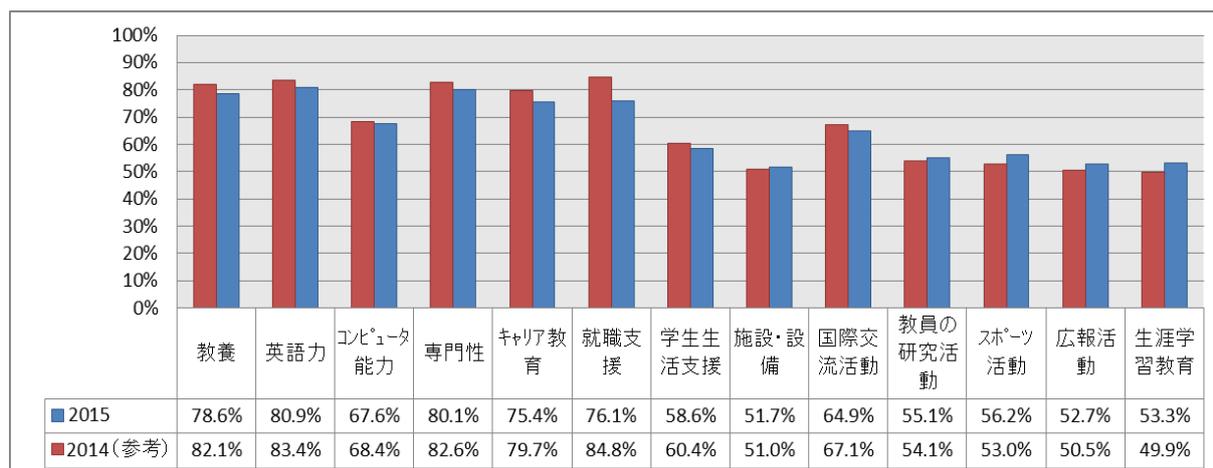
図5 法政大学の評価



5 本学が今後さらに充実すべき点

図6は、「法政大学が、今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか」との質問に対し、項目ごとに充実すべき度（「強い」＋「やや強い」の割合）を集計したものです。充実すべき点としては、「英語力を高めるための教育」（80.9%）がもっとも高く、「専門性を高めるための教育」（80.1%）、「教養を高めるための教育」（78.6%）と続きます。

図6 本学が今後さらに充実すべき点



6 情報提供について

図7は、「法政大学からの情報提供に満足していますか」の質問に対する回答を集計したものです。「満足度（「満足している」＋「やや満足している」の割合）は73.1%（前年度参考値69.3%）となっています。

図7 情報提供の満足度

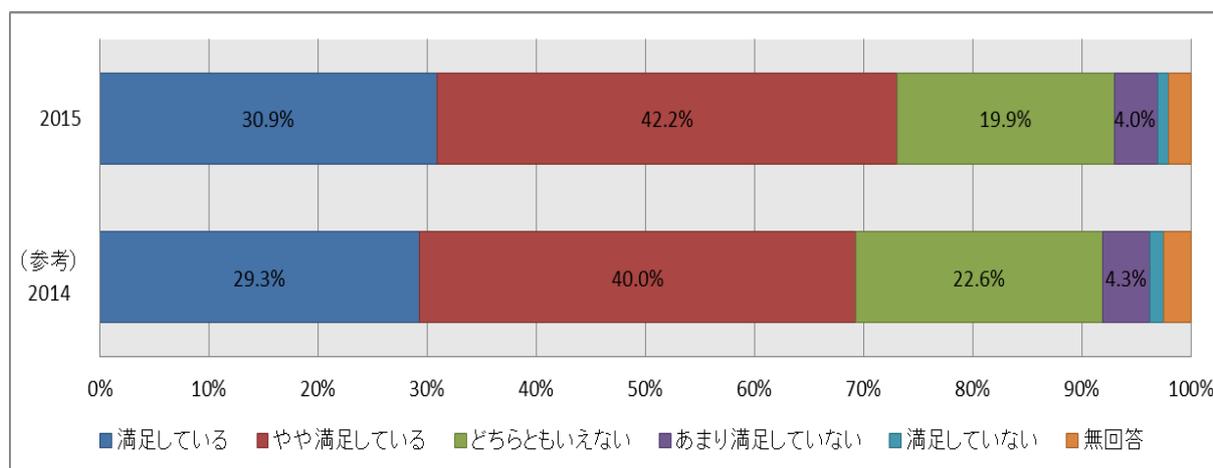
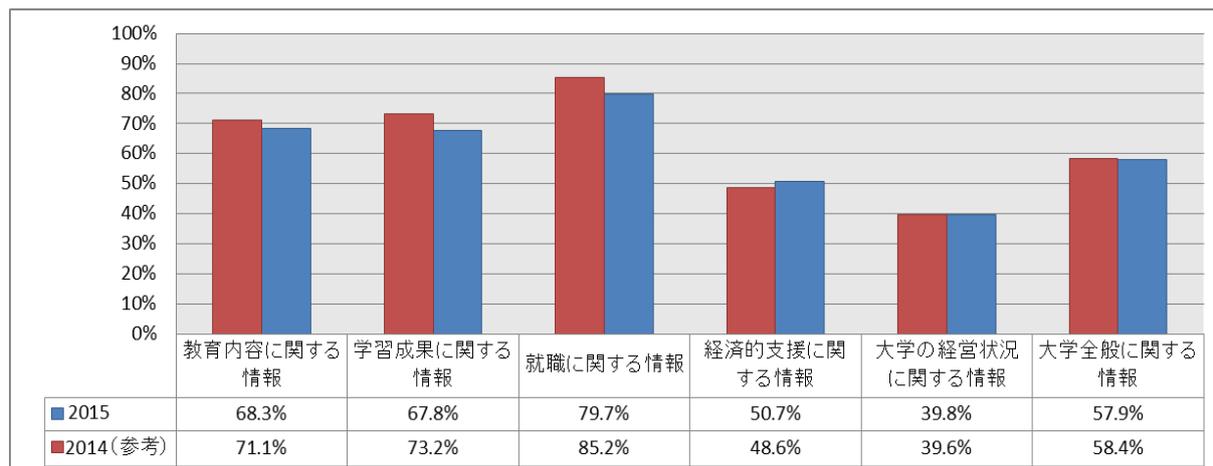


図8は、「どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか」の質問に対する、項目ごとに充実すべき度（「強い」＋「やや強い」の割合）を集計したものです。「就職に関する情報」（79.7%）を求める声が多く、「教育内容に関する情報」（68.3%）、「学習成果に関する情報」（67.8%）と続きます。

図8 さらなる発信を望む情報



<最後に>

今回のアンケート調査にご協力を賜りました保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

貴重な回答ならびご意見は関係各所にフィードバックするとともに、大学教育の質向上に向けた資料として活用させていただきます。

今後とも皆様からの幅広いご意見をお待ちしております。

以上